

テーマ：四日市市工業の 過去・現在・未来

■主催：東京大学地域未来社会連携研究機構

■後援：四日市市

■日時：2019年11月 22日（金）14:00-17:00

■会場：三重県四日市市鵜の森1丁目4-28

ユマニテクプラザ3階 研修室 300

■プログラム：

14:00-14:10 開会あいさつ

松原 宏（東京大学大学院総合文化研究科教授
地域未来社会連携研究機構長）

14:10-15:00 講演 1「四日市市における工業の特質－その変化と雇用－」
青木 英一（敬愛大学名誉教授）

15:00-15:20 質疑・休憩

15:20-16:10 講演 2「四日市市工業の現状分析と今後の課題」
鎌倉 夏来（東京大学大学院総合文化研究科助教）

16:10-17:00 質疑・総合討論

■参加費：無料

以下のアドレスにご所属とお名前を事前にお知らせ下さい。

■問合先：東京大学地域未来社会連携研究機構事務局

E-mail. office@frs.c.u-tokyo.ac.jp



■趣旨：

地域未来社会連携研究機構は、東京大学の新しい連携研究機構として、2018年4月1日に設置されました。地域の課題解決に関わる学内の11部局が連携し、統合したプラットフォームを構築することで、研究・地域連携・人材育成の3局面で相乗効果を発揮することを目的としています。

10月24日には、森智広四日市市長に東大駒場キャンパスにお出でいただき、四日市市と東大の機構との連携協定が締結されました。今後、私ども地域未来機構では、四日市市の政策課題に応える研究プロジェクトを実施して参りますが、今年度は、製造業企業のIoT化・AI導入促進施策について、提言をまとめる予定にしております。

そこで今回は、四日市市工業について長年研究されてこられた青木英一先生をお招きし、地場産業からコンビナート形成など、調査当時の思い出話を交えて、工業化の歴史についてご講演いただきます。続いて、三重県の工場や研究開発に関する著書を刊行している新進気鋭の鎌倉夏来先生から、四日市市工業の現状を新しい手法を使って分析していただくとともに、お集まりいただいた自治体、企業、学校関係、市民の皆様方と一緒に、四日市市の工業の課題と今後の方向性について、考えたいと思います。